

東日本大震災 石川民医連支援ニュース

No.32 2011年4月27日

石川民医連事務局

TEL 076-253-1458

松浦Dr.避難所訪問

柳沢先生の報告にありましたが、24日午後に着いて、こころのケアチームでミーティングして夜避難所を回りました。25日に保健所などを訪問しあい



さつ。午前には仙台港や七ヶ浜を視察。すぐに保健所より面談してほしい30代の主婦の事例の依頼があり、チームで訪問。さらに避難所で医療支援チームより相談あった事例3例に対応。夜はまた別の避難所に訪問し被災者の話を伺った。26日午前には保健所依頼の事例の面接。午後は坂病院の精神科担当医と面談し情報交換。そして医療支援チームの依頼の避難所事例に対応などです。なかなか忙しく送っています。

事例はいろいろですが、認知症の徘徊、認知症悪化で体育館の中あちこちで尿便失禁になってしまう事例の相談、震災で姑と同居するようになった主婦のストレス、子どもが震災後乱暴になったり退行したり余震などにひどくおびえたりすることに対する対応などです。対応した人の何人かは、人が何人も津波に流されるのを目撃していたり、「助けて」といいながらどうしようもなく見送った人たちの姿がかさなったり、車にのったまま津波にのまれて助かって車に乗れなくなったひとなど、いろいろひどく大変な話があります。



柳沢先生のレポート



26日(火)

午前 柳沢と中村は多賀城体育館、松浦メンタルチーム、津田・松田は長町地域の訪問。谷口は宮城野の里。

午後と同じ場所でした。避難所は段ボールで仕切られているとはいえプライバシーはないも同然。若い女性のメンタルが目立つ印象です。要介護状態の高齢者は介護問題も同時に起きつつ食欲低下、脱水、尿路感染など医療の対応も必要。保健所との連携もとれつつあり、要介護認定などもすすんでいます。体育館は岡山県から2人の保健師が応援に入っています。胃腸炎はだいぶ落ち着き、ここ2日は新たな患者発生していません。

津田さん、松田君は長町訪問がとても良かったとのこと。友の会の方をまわり震災の様子や不安などじっくり聞けたとのことでした。中村さんは避難所チームのリーダー、診察や回診(体育館内をゆっくり回り掘り起こしなど)についていて保健師との対応、まとめ等忙しそうです。

第8次隊は30日(土)出発

生方Dr、池端保健師、乙丸介護士(なんぶやすらぎ)、辻放射線技師の4名です。